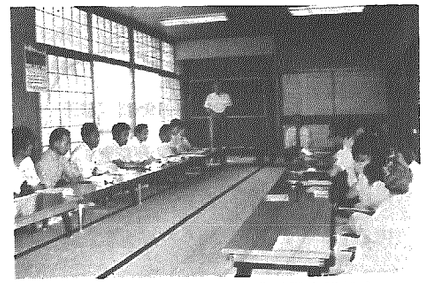
支部活動の活発化で地区に根ざした青少年育成めざす

――青少年育成村民会議総会――

昭和六十一年度青少年育成横越村民会議総会が、七月十二日公民館で開かれ、各支部役員など二十余名が出席して今年度の重点方針や事業計画などを決めました。

村民会議は、今年結成七年目を迎え、次代をになう心身ともに健やかな青少年の育成に地域ぐるみで取り組んでいこうと、各地域に支部結成を働きかけ、今までに七支部が結成され、地区に根ざした活動が続けられてきています。

また、全地域に支部を結成することが重点目標とされている中、今年六月に横越中地域で支部が結成され、村民会議の支部活動が、益々全村的なものになってきており、坪谷会長は、「大きな支部組織である横越中支部の結成が、まだ支部未結成地域への大きな働きかけとなるものと期待している。今後一層全地域での支部結成に努力し、全村民ぐるみで青少年の健全育成をはかっていきたい」と話していました。


7年目を迎えた青少年育成村民会議総会

昭和六十一年度事業は、広報啓発活動と支部活動の活発化などを重点目標に、機関紙「村民会議だより」の発行や各支部活動への援助及び、支部未結成地域への結成呼びかけが積極的に進められるほか、青少年の頭髪の多様化（長髪、パーマ、染色など）にともなう、整髪問題についての村内理美容施設の協力依頼や非行防止パトロールが計画されています。

役員改選では、会長に坪谷孝司さんが、副会長に武藤文捷さんがそれぞれ再選されました。

育成会横越中支部が結成される

横越中地区においては、昭昭四十七年より新田子供会が設立され、活動が続けられてきていましたが、さらに、家庭、地域、学校、行政の相互協力の中で青少年の健全育成を図ろうと、昨年度より自治会や子供会役員が中心となり準備を進めてきた育成会横越支部結成総会が、さる六月二十五日公民館で開催されました。

総会では、関係者など三十四名が出席し支部設立経過、規約の承認、事業計画、予算の承認、役員の選出が行われました。

昭和六十一年度事業は、親子冒険旅行、納涼郷土巡り、廃品回収活動など従来の子供会での事業内容や、祭礼参加など地域一体となった多彩な事業が計画されています。

初代支部長に選ばれた佐藤豊次さんは、「育成会支部結成の遅れを挽回するため、皆さんと一致協力して事業を進めていくとともに、会の主旨を理解していただき、全戸から加入してもらうよう努力していきたい」と話していました。

心のふれあいのできたソフトボール大会

育成会横越下支部

全隣組チームが参加して隣組対抗ソフトボール大会

青少年育成村民会議横越下支部主催による、第四回隣組対抗ソフトボール大会が、六月二十九日横越中学校グランドで、雨模様の天候にもかかわらず、十五隣組全チーム約二百名が参加して行われました。

各チーム、小中学生若しくは女性三名以上を含む九名で編成、五回戦のトーナメント方式によって、阿部又次支部長の試球式により第十五隣組と第十隣組の対戦でプレーが開始された大会は、時おり小雨がパラつく中でも、夫婦、母子、兄弟のバッテリーや家族総出で出場する場面が見られるなど、和やかな雰囲気の中で、チビッコやお年寄りの大声援をうけ、熱戦が展開されました。

試合結果は、青年層を多く揃え順調に勝ち進んできた第七隣組チームが、小学生のチビッコと意気の合ったチームワークで勝ち進んできた第十一隣組の親子チームを破り、初優勝を飾りました。

このソフトボール大会では、小中学生は勿論のこと、高校生、青年層からお年寄りまで老若男女を問わず多くの参加があり、親子の心のふれあいや地区住民の親睦と対話が深められたものとなりました。

し尿汲みとりお盆休業のお知らせ

八月十五日・十六日はし尿汲みとりは休みです。（十八日から平常通り）

行方不明の人を捜す相談所（無料）開設

○病気などを苦に家出をした。
○外出したまま行方がわからない。
○出稼ぎ先から便りがとだえた。

などで消息が知れず困っている方の相談所が、次のとおり開設されます。お気軽にご用ください。

日時　8月1日から31日まで
平日　午前9時～午後5時
土曜日　午前9時～午後0時30分

場所　県警察本部鑑識課
☎〇二五二(84)三一三一
（内線二五七・二五八）

※相談においでの時は、なるべく本人の写真や資料（身体、服装、所持品など本人を特徴するもの）をご持参ください。

食品衛生月間 7/16～8/15

食中毒予防を呼びかけ 食中毒防止パレード

大腸菌ふきとり検査も実施

夏場の高温多湿といった気候は、食中毒を引き起こす細菌が繁殖しやすく、食品の衛生的な取扱いに特に注意が必要な時期です。

新津食品衛生協会横越分会では、食品衛生月間に際し七月十八日、街宣車を先頭に村内一周食中毒防止パレードを行いました。

街頭宣伝には、新津保健所や協会などの関係者が、五台の車を連らね、住民の皆さんに食中毒の恐しさ予防の重点などを訴えたほか、今年新たに、大腸菌ふきとり検査もエーコープ本店前など三ケ所で行われました。

この大腸菌ふきとり検査は、食中毒予防で大切なのは、まず各自身で十分に注意することが肝心であることから、日常生活の中において、どのくらいの大腸菌が手に付着しているか、一般住民の皆さんからも知っていただくことにより、食中毒予防に対する認識を新たにしてもらおうと実施されたもので、当日、買い物に来ていた主婦ら十八名の方が検査を受けました。

ふきとり検査されたものは新津保健所で調査し、結果については各個人あて連絡されることになっています。

これからも、まだ食中毒が起こりやすい時期が続きます。食品の衛生的な取扱いや完全な手洗いの実行などにより、食中毒予防に努めましょう。

食中毒予防の呼びかけで実施された大腸菌ふきとり検査

夏の交通事故防止運動実施中

7月21日～8月20日

○シートベルト・ヘルメット着用の徹底
○飲酒・高速暴走運転の追放
○子供の事故防止
○二輪車の事故防止

などを重点に「夏の交通事故防止運動」が行われています。

レジャーによる交通量の増加や暑さによる疲労、飲酒などによる交通事故が増加する時期です。

みんなが心をひきしめて、飲酒運転は絶対しない、させないようにしましょう。

シートベルト・ヘルメットは必ず着用し、休憩は十分にとり、速度の出しすぎや無理な追越しなどは絶対にやめましょう。

今から六十六年前の八月十日（大正五年）日本で最初の近代的道路整備の長期計画「第一次道路改良計画」が実施されました。

この日を記念して、建設省では今年から八月十日を「道の日」と定めました。

六十六年の歳月で、日本の道路はかなり拡充、整備されてきましたが、モータリゼーション先進国といわれる欧米諸国に比べると、まだまだ質量ともに遅れをとっています。

8月10日は「道の日」

例えば、都市内で都市計画法に定められた計画どおりにでき上がっている道路は、まだ三九・八％にすぎません。

今後、ますます進む日本の〝車社会〟――それを支える〝道〟の重要性をいま一度考えてみてはいかがでしょうか。

また、「道の日」の記念行事として、「日本の道百選」（仮称）が選定される予定です。

放協 有農

納涼カラオケ盆おどり大会

日時　8月18日（夜）
7時～8時30分　カラオケ大会
8時30分～10時　盆おどり大会

場所　横越村農協本所前

県民芸術祭文芸部門――作品の募集

○応募できる人
県内在住者（小学校、中学校、高等学校の児童・生徒は除く）

○応募作品
●小説――四百字結原稿用紙五十枚以内。
●詩――四百字詰原稿用紙四枚以内で現代詩。
●短歌――一人新作五首を一編。
●俳句――一人新作五句を一編。
●川柳――一人新作五句を一編。

○応募上の注意
四百字詰原稿用紙に黒インクか黒ボールペン書きとし、一枚目の原稿用紙に応募種目と郵便番号、住所、氏名、性別、年令、職業、電話番号を記入。

○応募締切り
10月9日（木）消印有効

○あて先
〒951新潟市新光町四の一
新潟県教育庁文化行政課とし、封筒表面に「県民芸術祭文芸作品応募原稿」と朱書する。

恒久平和の願い込め 原爆犠牲者に黙とうを 八月六日・九日

四十一年前、広島市と長崎市に原爆が投下され、両市で一瞬にして数十万人の尊い生命が失われました。

原爆が投下された八月六日には広島市、そして九日には長崎市で、原爆犠牲者のめい福を祈り、平和を祈念する式典が開かれ、それぞれ原爆が投下された時刻に、犠牲者のめい福と世界恒久平和の確立を祈って、黙とうがささげられます。

村民の皆さんもそれぞれの家庭で、また職場で黙とうをされるようお願いします。